

学術講演会・研究発表会・公開講座

地域未来創生センターフォーラム
「the Design of Everyday Life」 日常生活をデザインするとは?」開催のお知らせ

地域づくりに取り組んでいる方や興味関心のある方を対象に、デザイン・シンキングという手法をもとに、市民参加型の社会制度の設計や社会構築、市民参加型の都市デザイン、ボトムアップ型のイノベーションなどをテーマとしたセミナーを行います。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月14日（火）16:00～18:00
2. 場 所： 土手町コミュニティパーク 多目的ホール
（弘前市土手町31番地）
3. 対 象： 学生・教員・行政関係者・一般市民の方
※事前申込は不要です。
4. 講 師： カリーハンス・コモネン氏
（アールト大学メディア学部長）

専 門： デザインシンキング、メディアデザイン、
社会デザイン
略 歴： ヘルシンキ美術デザイン大学を経て現職。
日本ででの主な活動： 東京大学や九州大学との共同研究
5. 主 催： 弘前大学地域未来創生センター
6. 参加料： 無 料
7. その他： 当日の発表は英語で行われます。日本語の通訳がつきます。



問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター（担当教員 羽渕）
（弘前市文京町1）
TEL：0172-39-3198
E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

平成26年度 二国間交流事業共同研究／セミナー
「地域人材流出問題と地域発展政策 ～なぜ、若者たちは東京・ソウルに移動するのか?～」
開催のお知らせ

1. 日 時： 2014年10月17日（金）17:00～20:30

2. 場 所： 弘前市民文化交流館 ホールおよび多世代交流室
(弘前市大字駅前町9-20ヒロロ内)

3. 対 象： 一般市民、行政関係者、学生
※定員：100名
※事前申込は不要です。当日参加可能です。

4. 目 的：
本事業は、日韓両国においては、地方における過疎化、少子高齢化の問題がますます深刻になっていることをうけ、地方からの人口流出問題に焦点をあて、地域間移動の要因を明らかにし、また、地方から都市だけでなく、都市から地方への地域間移動の要因を明らかにすることによって、双方向の移動を誘引するための政策を模索すること。

5. 主 催： 弘前大学

後 援： 青森県・弘前市

6. 参加料： 無 料

7. その他： 分科会は通訳あり

8. プログラム

16:30 開 場

17:00 開会・主催者挨拶 弘前大学長 佐藤 敬

基調講演

「ストップ少子化・地方元気戦略」

樋口 美雄

(日本創成会議人口減少問題検討分科会委員/
慶応義塾大学商学部教授)

司会： 小谷田 文彦

(弘前大学人文学部准教授)

18:30 分科会1

「人口流出から人口流入へ：Uターン戦略について」

話題提供者： 秋田 佳紀

(青森県企画政策部企画調整課課長)

崔榮鎬 (チョイヨンホ)

(大邱廣域市経済通商課課長)

司会： 石黒 格

(日本女子大学人間社会学部准教授)

分科会2

「人口再生力回復のために」



話題提供者： 岩崎 隆
(弘前市経営戦略部行政経営課課長)

吳昌昀 (オチャングン)
(大邱慶北研究院大邱慶北学センター所長)

司会： 山口 恵子
(東京学芸大学教育学部准教授)

20:00 分科会統括

司会： 李永俊
(弘前大学人文学部教授)

20:30 閉会・主催者挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター
(弘前市文京町1)
TEL: 0172-39-3198
E-mail: irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
(平日10:15~15:00)

第5回弘前大学COI特別講演会開催のお知らせ

平成25年11月に採択された革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM) 「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の拠点研究を推進するにあたり、更なる知見を深めること等を目的として、下記のとおり第5回弘前大学COI特別講演会を開催します。

本講演会では、GEヘルスケア・ジャパン株式会社 執行役員 技術本部長の星野和哉氏をお招きして御講演いただきます。

事前申込は不要です。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月20日 (月) 15:00~16:30
(受付は14:40から開始します)

2. 会 場： 弘前大学大学院医学研究科 基礎大講堂
(弘前市在府町5)

3. 対 象： 一般、弘前大学教職員、学生等
※事前申込は不要です。

4. 講 師： GEヘルスケア・ジャパン株式会社
執行役員 技術本部長 星野 和哉 氏

5. 演 題： 「GEのイノベーションと日本の役割」



第5回 弘前大学COI特別講演会
GEのイノベーションと日本の役割

日 時 2014年10月20日 (月) 15:00~16:30 (受付開始は14:40より)
場 所 弘前大学大学院医学研究科 基礎大講堂 (高森橋弘前中在府町5)

講師
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
執行役員 技術本部長 **星野 和哉 氏**

- ・1981年3月 東京工業大学 大学院修士課程 電気電子工学 修了
- ・1983年4月 富士通株式会社 開発 入社、4年経過後 退社
- ・1985年4月 GE株式会社 (株) 富士通システム (株) 富士通システム 入社
- ・1986年6月~12月 GE Corporate Research Center 入社
- ・1993年3月 株式会社日立製作所グループ シーズン (建設業) 入社
- ・1996年3月 株式会社日立製作所 入社
- ・2002年10月 株式会社日立製作所 入社
- ・2005年4月 株式会社日立製作所 入社
- ・現在に至る

どうぞお気軽にご参加下さい。一般の方、学生の参加も大歓迎です。

[Information]
弘前大学COI研究推進機構 戦略支援室
担当教員：村下
URA：工藤・菅原・金澤・野呂
担当事務：高橋
TEL: 0172-39-5538 Mail: coi_info@cc.hirosaki-u.ac.jp

問い合わせ先： 弘前大学COI研究推進機構 戦略支援室
担当教員：村下
URA：工藤・菅原・金澤・野呂
担当事務：高橋
TEL: 0172-39-5538
E-Mail: coi_info@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL: http://coi.hirosaki-u.ac.jp

平成26年度弘前大学総合文化祭「知の創造」
市民公開講座「放射線リスクコミュニケーションを考える」開催のお知らせ

リスクコミュニケーションとは社会を取り巻く様々なリスクに関する正確な情報を行政、専門家、市民間で共有し、意思疎通を図ることです。福島原発事故は我々に放射線リスクコミュニケーションの重要性を再認識させました。本講演では、「放射線リスクコミュニケーションを考える」というテーマで、放射線リスク、環境保健を専門にしている甲斐倫明氏、および環境省の看護職として福島住民とかかわりを持った経験を有する福島芳子氏、両氏の知見を広く公表することを通して、弘前大学学生、教職員、一般市民が放射線リスクについて考える機会といたく、標題の公開講座を開催いたします。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月26日（日）13:30～15:30
2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
(弘前市文京町1番地)
3. 対 象： 一般市民・学生
※事前申込は不要です。
4. 参加費： 無 料
5. 内 容：



- テーマ 「放射線リスクコミュニケーションを考える」
- ◆講演1 「集団から個への放射線リスクコミュニケーション」
福島 芳子 氏 (弘前大学大学院保健学研究科特任講師)
- ◆講演2 「放射線リスクコミュニケーションにいま何が求められているのか」
甲斐 倫明 氏 (大分県立看護科学大学環境保健学研究室教授)

6. 主催・共催：

- 主 催： 弘前大学総合文化祭「知の創造」弘前大学大学院保健学研究科事業
- 共 催： 弘前大学大学院保健学研究科高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
放射線リスクコミュニケーション教育部門
平成26年度学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
活性化支援事業費補助金対象事業

※詳細については、下記URLをご参照ください。

URL：http://www.rem-hirosaki.jp/activity_report_c.html

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ 桑田
TEL：0172-39-5518
E-mail：kuwata@cc.hirosaki-u.ac.jp

「シンポジウム 青森県の裁判員裁判—これまでの5年間を振り返る」
開催のお知らせ

1. 日 時： 2014年11月1日（土）14:00～17:30

2. 場 所： 弘前大学人文学部棟 4階 多目的ホール
3. 対 象： 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも（参加無料）
※事前申込は不要です。

4. 内 容：

第1部 研究教育の視点から
飯 考行（専修大学）、平野 潔（弘前大学）、
弘前大学人文学部学生

第2部 実務家・裁判員経験者の視点から
法曹関係者、裁判員経験者（予定）

第3部 パネルディスカッション

コーディネーター： 飯 考行（専修大学）
パネリスト： 裁判員経験者（予定）、法曹関係者、報道関係者、
学生など

5. 主 催： 弘前大学人文学部・教育学部

※本シンポジウムは、地域未来創生プロジェクト2014「青森県における法的諸課題の多角的検討」の一環です。

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 平野 潔
TEL：0172-39-3199
E-mail：k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

【文化の日に、弘前大学へ行こう！】
弘前大学人文学部国際公開講座2014「日本を知り、世界を知る」
アジアの文化・歴史《再発見》—津軽・日本そして中国— 開催のお知らせ

津軽やアジアの文化・歴史を再発見してみませんか。
また、人文学の研究の「今」をわかりやすくお伝えします。

1. 日 時： 2014年11月3日（月）10：00～17：00
（開場 9：30）
2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
3. 対 象： 関心のある方はどなたでも（入退場自由）
※事前申込は不要です。
4. 主 催： 弘前大学地域未来創生センター・弘前大学人文学部
共 催： 弘前市教育委員会（弘前市立博物館）・外ヶ浜町
5. 参加料： 無 料



6. 内 容 :

9 : 3 0 開 場

1 0 : 0 0 開会・主催者挨拶

弘前大学地域未来創生センター 学部情報室 平野 潔

1 0 : 1 0 ~ 1 1 : 1 0

講演 1

「津軽の仏教文化—弘前市立博物館展示

『久祥院殿写経』（隣松寺蔵）をめぐって—」

弘前大学人文学部 教授 渡辺 麻里子

1 1 : 2 0 ~ 1 2 : 2 0

講演 2

「津軽の気づきにくい方言—ことばの受容と変容—」

弘前大学人文学部 講師 川瀬 卓

1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0

講演 3

「雲南—中国南辺から見る世界—」

弘前大学人文学部 教授 荷見 守義

1 4 : 1 0 ~ 1 5 : 1 0

講演 4

「中国の詩跡巡礼

—名詩誕生の聖地、寒山寺（楓橋）・華清宮・桃花潭など—」

弘前大学人文学部 教授 植木 久行

1 5 : 2 0 ~ 1 6 : 4 0

特別講演

「過去・現在を想像する源義経伝説

—青森・北海道における生存説の展開と意味—」

上智大学国際教養学部 准教授 マシュー・トンプソン

1 6 : 4 0 ~ 1 6 : 5 0

閉会・主催者挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

1 7 : 0 0 終了

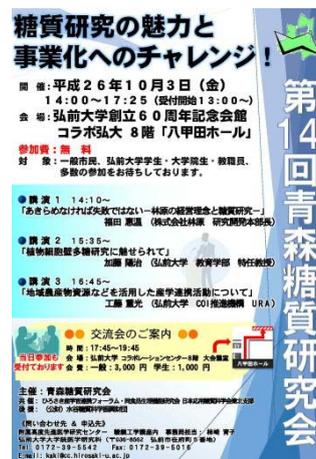
問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター（担当教員 渡辺）
（弘前市文京町1）
TEL：0172-39-3198
E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

「第14回青森糖質研究会」開催のお知らせ（再掲）

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど、諸活動を続けております。

平成26年度は「糖質研究の魅力と事業化へのチャレンジ！」をテーマに3講演が行われます。

1. 日 時： 2014年10月3日（金）14：00～17：25
（受付開始13：00～）
2. 会 場： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大
8階 八甲田ホール
（弘前市文京町3番地）
TEL：0172-39-3898
3. 対 象： 一般市民、本学学生・大学院生・教職員、
多数の参加をお待ちしております。
4. 講 演： 14：10～17：15



1. 「あきらめなければ失敗ではない
- 林原の経営理念と糖質研究 -」
福田 恵温（株式会社 林原 研究開発本部長）
2. 「植物細胞壁多糖研究に魅せられて」
加藤 陽治（弘前大学 教育学部 特任教授）
3. 「地域農産物資源などを活用した産学連携活動について」
工藤 重光（弘前大学 COI推進機構 リサーチ・アドミニストレーター）

5. 参加費： 無 料（交流会は 一般：3,000円、学生：1,000円）

6. 主 催： 青森糖質研究会（会長 加藤 陽治）

共 催： ひろさき産学官連携フォーラム・同食品生理機能研究会
日本応用糖質科学会東北支部

後 援： （公財）水谷糖質科学振興財団

7. 申込方法： 下記問い合わせ先へお申し込みください。*当日参加も可

※ 詳細については、下記URLをご参照ください。

URL：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm

※ 研究会終了後（17：45～19：45）、弘前大学コラボレーションセンター 8階
大会議室にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。

申込み・問い合わせ先： 青森糖質研究会事務局
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
TEL：0172-39-5542
E-mail：kaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

第8回 弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ（再掲）

1. 日時：2014年10月12日（日）13:00～15:40
2. 場所：弘前市民会館 大会議室
（弘前市大字下白銀町1番地6）
3. 対象：一般市民
※事前申込は不要です。
4. 内容：弘前大学大学院医学研究科の専門家により、がんの予防と検診について、市民の皆様によりわかりやすく講演いたします。講演後に質疑応答の時間を設けております。
5. プログラム：

○演題1 「がん検診 —正しい考え方と選び方—」

講師：弘前大学大学院医学研究科
地域がん疫学講座 講師 松坂 方士

○演題2 「がんにならないためには（一次予防）」

講師：弘前大学大学院医学研究科
社会医学講座 教授 中路 重之

○質疑応答（30分程度）

6. 入場料：無 料
7. 主催：弘前大学医学部附属病院 腫瘍センター
共 催：次世代がん治療推進専門家養成プラン

問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室
TEL：0172-39-5174



2014年 弘前大学白神研究会 秋の観察会 ～紅葉の然ヶ岳～ 開催のお知らせ（再掲）

1. 日時：2014年10月18日（土）8:30～15:00
（雨天決行）
2. コース：鱒ヶ沢町 然ヶ岳

3. 集 合： 赤石川中流 ハロー白神駐車場
(お車のない方はお申し出ください。朝7時 弘前大学正門集合です)
4. 対 象： 小学4年生以上 (小中学生は保護者同伴)
5. 参加人数： 20名
6. 服装・装備： 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があるといいです。
雨具は必ずお持ちください。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。
履き物は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴がいい
でしょう。虫除け、かゆみ止めをお持ちください。お弁当、飲み物もお持ち
ください。
7. 参加費用： 1,000円 (テキスト・傷害保険代金)
8. 主 催： 弘前大学白神研究会
9. 申 込： 弘前大学白神自然観察園まで
(山岸、TEL・FAX：0172-39-3706)
10. 申込締切： 最終申込日は10月15日(水)ですが、
定員になり次第締め切ります。

※ いつもの観察会のコースよりも、少し急な登りがあります。

申込み・問い合わせ先： 白神マタギ舎・牧田 肇
TEL・FAX：0172-88-1881

第7回弘前大学国際シンポジウム開催のお知らせ(再掲)
—Proposing a New Music Education View through Non-European Sound Practices—

この度、教育学部主催による第7回弘前大学国際シンポジウム「Proposing a New Music Education View through Non-European Sound Practices」を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

海外からはHenry Johnson氏 (University of Otago)、ChiCheung Leung氏 (Hong Kong Institute of Education)、Anita Prest氏 (University of British Columbia) Lauri Väkevä氏 (Sibelius Academy) の4名を招聘し、弘前大学及び附属特別支援の教員、大学院生とともに2日間、非西洋の音響文化、ジャズ、ポピュラー音楽等を中心に今後の音楽教育について考えるためのシンポジウムです。

それでは、多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月18日(土)～19日(日)
[1日目] 講演とディスカッション 13:00～18:00
[2日目] ポスターセッション 10:00～12:00
講演とディスカッション 13:00～18:00
2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
3. 対 象： どなたでもご参加いただけます。
※事前申込は不要です。

4. 講演者 Henry Jonson (オタゴ大学 教授)
 Chi Cheung Leung (香港教育学院 准教授)
 Anita Prest (ブリティッシュコロンビア大学 Ph.D.)
 Lauri Väkevä (シベリウス音楽院 教授)
 諏訪 淳一郎 (弘前大学国際教育センター 准教授)
 浅野 清 (弘前大学教育学部 教授)
 今田 匡彦 (弘前大学教育学部 教授、司会者)
 千葉 修平 (弘前大学大学院教育学研究科)
 熊谷 敬太 (弘前大学大学院教育学研究科)

5. 備考： 入場無料 (どなたでもご参加いただけます。)

※ 講演は全て英語で行います。

※ 詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://huis2014.com/>

問い合わせ先： 弘前大学教育学部音楽教育講座 今田 匡彦
 TEL：0172-39-3379
 E-mail：timada@cc.hirosaki-u.ac.jp

第16回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ (再掲)

- 日時：【第1回】2014年10月22日(水) 13:00～15:30
 【第2回】2014年10月29日(水) 13:00～15:30
- 場所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
 (弘前市本町40-1)
- 対象：一般市民の方
- テーマ：「実感！今すぐできる 健康管理
 ～あと一つの予防で いきいき生活～」
- 募集人数：市民の方30名(先着順)
- 参加費：無料
- プログラム：



【第1回】2014年10月22日(水) 13:00～15:30

「動く」

～転ばぬ先のつえ 簡単にできる足腰の運動～
 ～ちょっとしたコツで みんながあずましくなる紙おむつのあてかた～

講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 鎌田 恵里子
 看護師 山田 基矢

「食べる」

～抗がん剤治療中の食事～
 ～実は栄養不足 栄養補助食品のお話し～

講 師： がん化学療法認定看護師 粟津 朱美

【第2回】2014年10月29日（水）13：00～15：30

「守る」

～目で見て実感 家庭内の感染予防対策の実際～

講 師： 感染管理認定看護師 尾崎 浩美
看護師 木村 俊幸

「眠る」

～アロマで良い睡眠 脳の若返りにチャレンジ～

講 師： アロマインストラクター 石川 陽子

*講義は1回のみ参加も可能です。申込み時お知らせください。

*第1回目は、簡単な運動もありますので動きやすい服装でおいでください。

8. 申込み受付期間： 2014年9月16日（火）～10月10日（金）
※土・日曜日・祭日を除く、9：00～17：00

申込み・問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院 地域連携室 木村 淑子
TEL：0172-39-5337

第39回弘前大学経済学会大会のお知らせ（再掲）

弘前大学経済学会は、第39回大会（記念講演、研究成果発表）を下記のとおり開催することになりました。今回は日本銀行青森支店長・山口智之氏をお招きし、青森県経済の現状と展望についてご講演いただくほか、本学会会員による日頃の研究成果の発表を予定しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月24日（金）14：00～17：40

2. 場 所： 弘前大学人文学部多目的ホール（人文学部校舎4階）

3. 対 象： 学内外問わずどなたでも参加可能
※事前申込は不要です。入場無料です。

4. プログラム：

1. 開会挨拶
森 樹男会長（弘前大学人文学部教授） 14：00～14：05

2. 講演
講 師 山口 智之 氏（日本銀行青森支店長） 14：10～15：20
演 題 「青森県経済の現状について（仮）」

3. 研究発表（1）
栗原 由紀子 氏（弘前大学人文学部講師） 15：30～16：30

発表題目 「景況パネルによる企業の予想形成の分析」

討論者 飯島 裕胤 氏（弘前大学人文学部教授）

研究発表（2）

秋葉 まり子 氏（弘前大学教育学部教授） 16：40～17：40

発表題目 「ベトナムにおける農村金融の仕組み：北部紅河デルタの事例研究」

討論者 黄 孝春 氏（弘前大学人文学部教授）

※学会終了後、本学文京キャンパス周辺のお店を会場として、懇親会を行います。
参加ご希望の方は、学会開催の2～3日前までに事務局・細矢までご連絡ください。
会費4,000円程度を予定しています。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 細矢 浩志
TEL：0172-39-3281
E-mail：hosoya@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学地域未来創生センター・弘前市立中央公民館
弘前大学との地域づくり連携事業「地域未来創生塾@中央公民館」開催のお知らせ（再掲）**

「人口減少を克服する持続可能な地域づくり」をテーマに全10回の講座を開催いたします。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策などを模索するために、地域のみなさまと、弘前大学人文学部の教員及び学生が、ワークショップ形式で学びを深めます。関心あるテーマのみのご参加も大歓迎です。

1. 日程：2014年9月10日（水）～2015年1月28日（水）の期間の
第2および第4水曜日（全10回）

2. 時間：18：30～20：00

3. 場所：弘前文化センター 第3会議室
（弘前市下白銀町19-4）

4. 対象：弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方

5. 参加料：基本的には無料

6. 申込み：不要・当日の参加が可能です。

7. 主催：弘前大学地域未来創生センター

共催：弘前市教育委員会（中央公民館）

8. その他：継続してご参加の方には認定証の授与をいたします。

9. 年間計画：



	日程	タイトル	講師・内容
第1回	2014年9月10日（水） 【終了】	未来新聞を作ろう	講師：人文学部教授 李永俊 （専門 労働経済学）

第2回	2014年9月24日(水) 【終了】	人口減少時代の地方経済	講師：人文学部准教授 小谷田文彦 (専門 ミクロ経済学)
第3回	2014年10月8日(水)	地域の防犯を考える	講師：人文学部准教授 平野 潔 (専門 刑法) 人文学部講師 河合 正雄 (専門 憲法) 地域でよく起きている犯罪について、その防犯対策を考えます。
第4回	2014年10月22日(水)	財生(ざいせい)～弘前版ゆりかごから墓場まで	講師：人文学部財政ゼミナール 3年生 話題提供： 人文学部准教授 金目哲郎 (専門 財政学) 人々が“財政”との関わりの中で“人生”を歩むことを「財生」と名付けました。弘前市では社会福祉がどれだけ保障されているかについて、人生をいくつかの時期に分けて見ていき、それらの特徴や課題を考えます。
第5回	2014年11月12日(水)	都市の形 —弘前と古代ローマ	講師：人文学部教授 宮坂朋 (専門 西洋考古学) ①弘前を歩く ②古代地中海の都市を歩く ③権威とプライドの古代都市ローマ
第6回	2014年11月26日(水)	地域の未来を共有するための道具箱	講師：人文学部准教授 平井太郎 (専門 社会学) 地域の未来を住民市民・行政・大学などが一体となって描き直し分かち合うためのさまざまな手法——「地元学」や「集落点検」、「地域づくり曲線」などを学び、みなさんそれぞれの地域に持ち帰っていただきます。
第7回	2014年12月10日(水)	東北方言の助詞「さ」の謎—方言に見ることばの変化—	講師：人文学部講師 川瀬卓 (専門 日本語学) 共通語で「東京に行く」というところを、青森県を始めとする東北地域では「東京さ行く」のように言います。助詞「さ」の成立に注目して、ことばの変化について考えます。
第8回	2014年12月24日(水)	くずし字で遊ぼう！くずし字で郷土の文学を楽しもう！	講師：人文学部教授 渡辺麻里子 (専門 日本古典文学) ・日本古典文学ゼミナール ゼミ生 ん！？「ひらがな」なのに読めない！？ 筆で書かれた不可思議な「くずし字」に触れ、古典文学の世界を一緒に楽しみましょう。郷土にかかわる古典文学もご紹介します。
第9回	2015年1月14日(水)	地域をゲームで考え	講師：人文学部講師 日比野愛子

		る	(専門 社会心理学) ほか 社会行動コース教員 対話型のゲームを通じて、地域の生活習慣病対策について考えます。
第10回	2015年1月28日(水)	「地域文化を音楽や 芸能から考える」	講師：国際教育センター准教授 諏訪淳一郎 (専門 文化人類学) 音楽や芸能からみると、地域同士は連続し、互いに影響し合っています。そこで世界、ユーラシア、東アジア、日本、東北、津軽という同心円を設定し、世界各地の資料を訪ねつつ地域文化の特性について考えていきます。

問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター
TEL：0172-39-3198
(平日9:00～15:00)
E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

学 内 掲 示 板

学長オフィスアワー日程変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、下記のとおり日程変更がございますのでお知らせいたします。

日程変更
10月3日(金) → 10月10日(金)

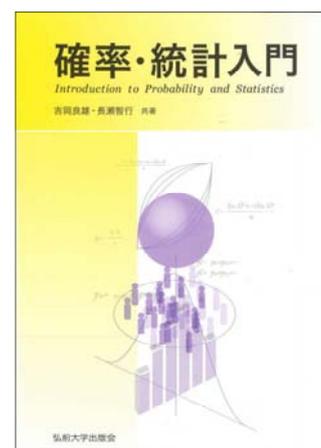
問い合わせ先： 弘前大学総務部総務課(秘書室) 内線3004
URL：http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html

弘前大学出版会から新刊のご案内

吉岡良雄・長瀬智行 共著 「確率・統計入門」(B5判、108頁、定価 1,296円)を出版しました。

～紹介文～

コンピュータの普及とともに、自然から観測された種々のデータや、コンピュータによる大規模なシミュレーションから得られた測定データを手軽に処理できるようになった。しかし、観測(または、測定)されたデータについて、ただ単に平均や分散を求めるだけでは、観測データの特徴や性質をつかむことができないし、自然からは多くの情報が発せられている。これらの情報をうまくデータ化し、処理すること(統計的处理)が必要である。本書は大学初年度の“確率・統計”に関するテキストであり、高校から大学への授業の中間に位置付けている。内容は、高校で履修することになっている数Ⅲ・数A・数B・数Cとの関連を示しながら各章を著した。また、第6章および第7章には、ソフトウェア開発に有用なデータ解析手法を取り上げている。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求めください。

弘前大学教育学部編 2014・2015年度版（第6版 第1刷）「地域の環境と生活の実験・演習」
（A4判、61頁、定価 1,490円）を出版しました。

～紹介文～

本書は、自然や環境、暮らしや生活に関する基礎的・基本的実験や演習を行なうことを通して、地域に関心を抱き、自らの科学的観察力と理解力・分析力を育てるための素養を形成することを目的として執筆された。

そのため実験内容も、果物などの食品や木材を素材にしたり、水や大気をはじめ身近な生物、地層を題材にしたり、光や電気、エネルギー、衣服など暮らしや生活に密着したテーマにしている。

また本書は、弘前大学教育学部地域生活専攻の必修科目「地域自然環境基礎実験」に用いるテキストである。

地域の環境や生活を考える上で、有益な実験書であり、是非一読していただきたい。



ご興味をお持ちの方は大学生協でお買い求めください。

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029